

各 位

上場会社名 FCM株式会社  
 代表者 代表取締役社長 市居 律雄  
 (コード番号 5758 )  
 問合せ先責任者 管理部長 丸山 仁  
 (TEL 06-6975-1324)  
 親会社 古河電気工業株式会社  
 代表取締役 柴田 光義  
 (コード番号 5801)

## 業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年7月29日に公表した第2四半期業績予想ならびに平成26年4月30日に公表した通期業績予想および配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成 27 年 3 月期第 2 四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,600	130	150	90	52.82
今回修正予想(B)	9,800	220	250	160	93.91
増減額(B-A)	200	90	100	70	
増減率(%)	2.1	69.2	66.7	77.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	8,580	33	49	18	10.68

平成 27 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,900	230	230	145	85.10
今回修正予想(B)	19,500	380	430	280	164.33
増減額(B-A)	600	150	200	135	
増減率(%)	3.2	65.2	87.0	93.1	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	18,401	144	185	94	55.71

### 修正の理由

第2四半期累計期間においては、電気機能線材事業は当初の計画通り堅調に推移しています。一方の電子機能材事業はスマートフォン向けの需要が好調で、増産に対応するため大幅に稼働を上げての操業となっています。

その結果、売上高をはじめ営業利益、経常利益、四半期純利益ともこれまでの予想を上回る見込みとなりました。

平成27年3月期通期においては、第4四半期以降スマートフォン向け案件は落ち着くものの、その他はおおむね当初の計画通りに推移する見込みであることから、業績予想を修正することとします。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成26年4月30日発表)	-	0.00	-	26.00	26.00
今回修正予想	-	0.00	-	50.00	50.00
当期実績	-	-	-		
前期実績 (平成26年3月期)	-	0.00	-	17.00	17.00

修正の理由

当社の利益配分については、配当性向の目標を30%とし業績に連動した配当金とすることを基本方針としています。業績予想の修正にありますように、平成27年3月期通期の当期純利益が280百万円となる見込みですので、期末の配当予想を1株当たり50円とさせていただきます。なお、第2四半期末の配当金については、既に発表しているとおりで変更はありません。

以上